

質問事項		記述式回答
賃金の上昇及び設備投資の促進に必要な取組について		
1	<p>好調な企業収益や雇用環境の改善に比べ、賃金の上昇が緩やかとなっている要因、また、今後、賃金がさらに上昇していくために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	<p>名目賃金が伸び悩むのには様々な要因がある。正規雇用者の賃金が上昇しない理由として、労働生産性の上昇が低いこと、過去の不況期に名目賃金が下方硬直的だったので企業が賃金の引き上げに慎重になっていることが考えられる。非正規雇用者の賃金の伸びにくい理由としては、女性や高齢者のあいだで労働供給意欲が高いことや、福祉や介護の賃金が人為的に低く抑えられていることが挙げられる。したがって政策として、外国企業の対日直接投資の促進、女性及び外国人の活用を通じて労働生産性を高めること、金融緩和を継続して2%のインフレーションを達成し名目賃金下方硬直性の弊害を取り除くこと、消費税の引上げと社会保障の一体改革を進めて、介護報酬抑制などの歪みの大きい政策を減らすことが考えられる。女性や高齢者の労働供給が増えても労働市場が逼迫すれば、非正規雇用者の賃金はやがて上昇すると予想される。</p>
2	<p>好調な企業収益に比べ設備投資に力強さが欠けている要因、また、今後、設備投資(機械設備、構築物、研究開発等)を一層促すために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	<p>投資に力強さが欠けるのは、日本における投資の期待収益率が低いので、日本や海外の企業が日本以外の国を投資先に選ぶことが多いためと考えられる。日本での投資の期待収益率を上げるためには、資本と補完的な高度の人材の育成や活用、特に有能な女性や外国人が働きやすい環境を整備することが重要である。</p>